



# 滝小だより

滝頭小学校学校だより 2018th

平成 31 年 2 月 28 日

## 3 月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

《学校教育目標》 手をつなぎ 進んで学ぼう 滝小の子



〒 235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/> **滝頭小 検索**

Mail: [y3takiga@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3takiga@edu.city.yokohama.jp) カラー高解像度版は学校 HP に掲載中 Every day



**絆いっぱい 笑顔いっぱい 大好き滝小**  
Everlasting Bonds , Shining Smiles , We ♡ TKG

## 90周年のレガシー

校長 鶴飼 数夫

早いもので、あと1か月で学校の1年が終わろうとしています。今年2018年度は、本校創立90周年に明け暮れた年と言ってもよいでしょう。先日、最後の拡大実行委員会を開催して、記録のまとめを見ながら振り返りを行いました。年度末にあたり、その内容をご紹介して来る次年度に備えたいと思います。

まず、第一に挙げられたのが、一年を通して子どもたちが活躍し、思い出に残る活動ができた。ということです。5月の航空写真撮影から始まり、9月校歌レリーフ制作、10月記念スポーツフェスティバルを経て、11月の滝小90歳を祝う会と12月の90周年ふれあいフェスティバルでピークを迎えました。その節目で、実行委員会やPTAの予算から、記念リーフレットやクリヤファイル、マフラータオル、缶バッジ、記念クッキーなどのプレゼントも思い出に花を添えました。また、その間に行われた各委員会主催の記念企画が、どれもとても素晴らしく、子どもたちのアイデアと工夫がいっぱいのものでした。特に、なかよし委員会のパズルやヒマラヤ杉委員会のクイズラリーや顔はめパネル写真撮影、緑をふやそう委員会の花文字、スポーツ・ザ・共和国のドッチボールリーグ戦などは、記念式典の日だけでなく、長期にわたって楽しめ、そしてその成果が見える形で今も残っています。



第二は、この90周年の取り組みを通して、より一層の地域理解や学校愛・郷土愛が育ったということです。1月号でもお伝えしましたが、記念資料集は、これからの最低10年間、授業で使える教材となりました。そして、ふれあいフェスティバルに向けての取り組みで、地域に学習材を求めた「総合的な学習の時間」が充実しました。3年生は、学校の歴史や地域の商店街に目を向け、地域の人たちに笑顔を伝えるにはどうしたらよいかを考え、5年生は、昨年度から始まった滝頭地区における2つの「子ども食堂」をどのようにして広めていったらよいかを考えて実行しました。4年生は、滝頭地域ケアプラザとの交流から福祉の世界へ目を広げていきました。これらの取り組みはいずれも、今の滝頭地区の特徴的な部分に注目して、探究的な学習として高めていったもので、今年に限らず、来年以降も他の学年でも取り上げてほしい題材です。こうした学習材の発掘や取り組みそのものが、次代に残せる「レガシー」と呼べるものでしょう。

そして、何といたっても卒業した先輩たちが紡ぎ私たちに託していったスローガンです。「絆いっぱい 笑顔いっぱい 大好き滝小」折に触れて、この言葉の意味をかみしめたり、味わったりしながら活動を続けてきました。いつしか、それは学校全体が目指すべき姿、目標とも呼べるレベルに解釈することができるように定着しました。90周年の1年を終えようという今でも、校舎のベランダを始め、校内のいたるところに掲げられ、私たちに問い続けています。絆は深まりましたか?笑顔はたくさん作れましたか?学校やまちのことが好きですか?その問いには、胸を張ってこう答えます。「はい!!」と。

今年度の学校だよりは、これで最終号です。皆様方のご理解・ご支援のおかげで、大変充実した1年間を送ることができました。ありがとうございました。

これらのレガシーを大切に、さらに輝く笑顔のために、来年度も頑張っていきたいと思っています。